

2024年3月期 第3四半期決算説明資料



【 目 次 】

1. 損益の状況	(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結	1
	(2) 第四北越銀行 単体	2
2. 金融再生法開示債権及びリスク管理債権	第四北越銀行 単体	3
3. 有価証券の評価損益 (繰延ヘッジ考慮後)	(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結	3
	(2) 第四北越銀行 単体	3
4. 預金等、貸出金残高	第四北越銀行 単体	4
5. 投資信託・公共債等預かり資産残高	第四北越銀行 単体	4

- (注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 前年同期比、2022年12月末比欄の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。
3. 自己資本比率につきましては現在算出中につき確定次第、開示致します。

1. 損益の状況

(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結

○連結粗利益は、前年同期比18億円増益の723億円となりました。
 資金利益は44億円減益となりましたが、役務取引等利益は20億円、その他業務利益は43億円それぞれ増益となりました。

○経常利益は、前年同期比35億円増益の248億円となりました。
 営業経費は8億円、貸倒償却引当費用は5億円それぞれ増加しましたが、連結粗利益の増益に加え、株式等関係損益は24億円増加しました。

○親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比35億円増益の187億円となりました。
 特別損益は9億円増加し、法人税等税金関係費用は10億円増加しました。

(単位:百万円)

		2024年3月期		2023年3月期	(参考) 2023年3月期
		第3四半期	前年同期比	第3四半期	
連結粗利益	1	72,313	1,882	70,431	91,239
資金利益	2	49,019	△4,484	53,503	67,919
役務取引等利益	3	18,005	2,036	15,969	22,821
その他業務利益	4	5,288	4,330	958	498
営業経費(△)	5	47,547	821	46,726	62,556
貸倒償却引当費用(△)	6	4,531	569	3,962	5,395
貸出金償却(△)	7	2,578	1,182	1,396	2,131
個別貸倒引当金繰入額(△)	8	1,381	△1,134	2,515	3,513
一般貸倒引当金繰入額(△)	9	△69	129	△198	△820
延滞債権等売却損(△)	10	50	50	—	24
その他(△)	11	590	341	249	546
貸倒引当金戻入益	12	—	—	—	—
償却債権取立益	13	459	12	447	482
株式等関係損益	14	2,797	2,466	331	534
その他	15	1,379	535	844	744
経常利益	【275億円】16	24,870	3,504	21,366	25,048
特別損益	17	1,069	953	116	△98
税金等調整前四半期(当期)純利益	18	25,939	4,456	21,483	24,949
法人税、住民税及び事業税(△)	19	6,487	1,198	5,289	6,699
法人税等調整額(△)	20	713	△183	896	366
四半期(当期)純利益	21	18,738	3,441	15,297	17,883
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益 又は四半期(当期)純損失(△)	22	△0	△115	115	115
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益【201億円】	23	18,739	3,558	15,181	17,768

(注) 1. 連結粗利益 = (資金運用収益 - (資金調達費用 - 金銭の信託運用見合費用))

+ (役務取引等収益 + 信託報酬 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

2. 【 】は2024年3月期予想値

(参考)

(単位:百万円)

連結業務純益	24	24,601	1,007	23,594	29,217
--------	----	--------	-------	--------	--------

(注) 連結業務純益 = 第四北越銀行業務純益 + その他の会社の業務純益 + 関連会社業務純益 × 持分 - 内部取引

(2) 第四北越銀行 単体

○コア業務粗利益は、前年同期比29億円減益の677億円となりました。
 ・資金利益は、貸出金利息が貸出金平残の増加と貸出金利回りの上昇により増加したほか、有価証券利息配当金も利回り上昇等により増加しました。一方で、市場金利の上昇による外貨調達コストの増加を主因に資金利益全体では前年同期比40億円減益の487億円となりました。
 ・役務取引等利益は、資産運用アドバイス収益が保険窓口販売などにより増加したことを主因に前年同期比3億円増益の109億円となりました。
 ・その他業務利益（除く国債等債券損益）は、お客さまの為替変動リスクを回避する効果のあるデリバティブ取引の増加などを主因に前年同期比7億円増益の80億円となりました。
 ○コア業務純益は、前年同期比34億円減益の241億円となりました。
 コア業務粗利益の減益に加え、経費は物件費を中心に4億円増加しました。
 ○経常利益は、前年同期比25億円増益の207億円となりました。
 ネット信用コストは6億円増加しましたが、国債等債券損益は48億円、株式等関係損益は15億円それぞれ増加しました。
 ○四半期純利益は、前年同期比27億円増益の144億円となりました。

(単位:百万円)

		2024年3月期		2023年3月期	(参考) 2023年3月期
		第3四半期	前年同期比	第3四半期	
業務粗利益	1	63,631	1,875	61,756	80,227
(コア業務粗利益)	2	(67,712)	(△2,972)	(70,684)	(91,789)
資金利益	3	48,750	△4,082	52,832	67,311
うち投資信託解約損益	4	877	△3,944	4,821	4,749
役務取引等利益	5	10,953	338	10,615	15,427
その他業務利益	6	3,928	5,619	△1,691	△2,511
うち国債等債券損益	7	△4,080	4,848	△8,928	△11,561
経費（除く臨時処理分）(△)	8	43,540	478	43,062	57,503
うち人件費(△)	9	22,484	△339	22,823	30,340
うち物件費(△)	10	18,305	670	17,635	23,769
実質業務純益	11	20,091	1,397	18,694	22,724
(コア業務純益) 【278億円】	12	(24,171)	(△3,451)	(27,622)	(34,285)
(コア業務純益(除く投資信託解約損益))	13	(23,294)	(493)	(22,801)	(29,536)
一般貸倒引当金繰入額(△)①	14	△200	182	△382	△1,002
業務純益	15	20,292	1,216	19,076	23,726
臨時損益	16	428	1,352	△924	△1,157
うち不良債権処理額(△)②	17	3,882	586	3,296	5,587
(貸倒償却引当費用①+②)(△)	18	(3,681)	(767)	(2,914)	(4,585)
うち貸倒引当金戻入益	19	—	—	—	—
うち偶発損失引当金戻入益	20	133	133	—	—
うち償却債権取立益	21	454	13	441	472
うち株式等関係損益	22	2,508	1,558	950	3,130
経常利益 【224億円】	23	20,720	2,569	18,151	22,568
特別損益	24	△368	1,504	△1,872	△2,088
うち固定資産処分損益	25	△91	△895	804	652
うち減損損失(△)	26	89	△2,588	2,677	2,741
うち退職給付費用(△)	27	187	187	—	—
税引前四半期(当期)純利益	28	20,352	4,074	16,278	20,480
法人税、住民税及び事業税(△)	29	5,177	1,043	4,134	5,108
法人税等調整額(△)	30	685	265	420	524
四半期(当期)純利益 【154億円】	31	14,488	2,765	11,723	14,847

(参考)

ネット信用コスト(△) 14+17-19-20-21	32	3,093	620	2,473	4,112
----------------------------	----	-------	-----	-------	-------

- (注) 1. コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券損益
 2. 実質業務純益＝業務粗利益－経費（除く臨時処理分）
 3. コア業務純益＝コア業務粗利益－経費（除く臨時処理分）
 4. 【 】は2024年3月期予想値

2. 金融再生法開示債権及びリスク管理債権

第四北越銀行 単体

○不良債権額は前年同期比38億円減少し、1,224億円となりました。
 破産更生債権及びこれらに準ずる債権は13億円、要管理債権は2億円それぞれ増加しましたが、危険債権は52億円減少しました。
 ○不良債権比率は前年同期比0.14ポイント低下の2.21%となりました。

(単位:億円) (参考) (単位:億円)

	2023年12月末		2022年12月末	2023年3月末
		2022年12月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	72	13	59	63
危険債権	1,108	△52	1,160	1,150
要管理債権	43	2	41	47
三月以上延滞債権額	7	△8	15	8
貸出条件緩和債権額	35	9	26	38
小計 (A)	1,224	△38	1,262	1,261
正常債権	53,999	1,552	52,447	53,053
債権額合計 (B)	55,224	1,515	53,709	54,314
不良債権比率 (A) ÷ (B)	2.21%	△0.14%	2.35%	2.32%

3. 有価証券の評価損益(繰延ヘッジ考慮後)

○株価の上昇により、株式の評価損益が大幅に改善したことを主因に、第四北越フィナンシャルグループ連結での有価証券の評価損益は192億円の含み益、第四北越銀行単体での有価証券の評価損益は209億円の含み益となりました。

(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結

(単位:億円) (参考) (単位:億円)

	2023年12月末				2022年12月末				2023年3月末			
	貸借対照表 計上額	評価損益			貸借対照表 計上額	評価損益			貸借対照表 計上額	評価損益		
		評価益	評価損	評価損		評価益	評価損	評価損		評価益	評価損	
満期保有目的	706	4	4	0	16	△0	—	0	328	3	3	0
その他有価証券	26,656	188	1,202	1,014	26,105	△588	717	1,306	28,288	△268	704	973
株式	1,787	791	800	9	1,387	367	403	35	1,495	454	480	25
債券※	13,805	△232	95	328	15,101	△350	108	459	15,717	△174	73	247
その他	11,063	△370	306	676	9,615	△605	205	811	11,074	△549	149	699
うち外国証券※	6,885	△231	216	447	5,416	△391	169	561	6,594	△326	108	435
合計 (繰延ヘッジ考慮後)	27,363	192	1,207	1,015	26,121	△588	717	1,306	28,617	△265	707	973

(2) 第四北越銀行 単体

(単位:億円) (参考) (単位:億円)

	2023年12月末				2022年12月末				2023年3月末			
	貸借対照表 計上額	評価損益			貸借対照表 計上額	評価損益			貸借対照表 計上額	評価損益		
		評価益	評価損	評価損		評価益	評価損	評価損		評価益	評価損	
満期保有目的	706	4	4	0	16	△0	—	0	328	3	3	0
その他有価証券	26,490	204	1,215	1,010	26,000	△509	775	1,285	28,151	△213	748	961
株式	1,622	802	806	3	1,282	430	458	27	1,359	496	514	17
債券※	13,805	△225	98	323	15,101	△333	113	447	15,717	△158	79	237
その他	11,063	△372	310	683	9,615	△606	204	810	11,074	△551	154	705
うち外国証券※	6,885	△232	216	449	5,416	△390	170	561	6,594	△326	108	435
合計 (繰延ヘッジ考慮後)	27,197	209	1,220	1,011	26,016	△509	775	1,285	28,480	△210	751	961

※債券及び外国証券については、時価変動リスクを低減する目的で金利スワップによる繰延ヘッジを行っており、評価損益は繰延ヘッジ考慮後の計数を記載しております。

4. 預金等、貸出金残高

第四北越銀行 単体

- 貸出金の期末残高は、前年同期比1,717億円増加し、5兆3,927億円となりました。
- ・事業性貸出は、県内は実質無利子融資の繰り上げ返済に加え、資材価格の高騰等を受けた設備投資の先送りなどを主因に減少しましたが、県外は資金需要のある大企業向けが増加したことなどから、事業性貸出全体では増加しました。
 - ・消費性貸出は、非対面チャネルの活用などにより、お客さまの利便性向上に積極的に取り組んだことを主因に増加しました。
- 譲渡性預金を含めた預金等残高は、前年同期比591億円増加し、8兆5,607億円となりました。

(単位:億円) (参考)(単位:億円)

	2023年12月末		2022年12月末	2023年3月末
		2022年12月末比		
貸出金残高	53,927	1,717	52,210	52,881
県内事業性貸出残高	17,283	△ 268	17,551	17,435
うち中小企業向け貸出残高	14,299	△ 317	14,616	14,486
県外事業性貸出残高	14,140	2,334	11,806	12,473
うち中小企業向け貸出残高	5,540	466	5,074	5,249
消費性貸出残高	14,772	455	14,317	14,428
公金貸出残高	7,731	△ 804	8,535	8,543
預金等残高	85,607	591	85,016	86,161
うち県内預金等残高	83,768	588	83,180	84,344
うち個人預金等残高	57,587	669	56,918	56,317

(注) 預金等残高=預金+譲渡性預金

5. 投資信託・公共債等預かり資産残高

第四北越銀行 単体

- 預かり資産残高は前年同期比772億円増加し、9,199億円となりました。
- 公共債は35億円減少しましたが、投資信託は80億円、保険は727億円それぞれ増加しました。

(単位:億円) (参考)(単位:億円)

	2023年12月末		2022年12月末	2023年3月末
		2022年12月末比		
預かり資産残高	9,199	772	8,427	8,624
投資信託	1,773	80	1,693	1,757
公共債	688	△ 35	723	716
保険	6,737	727	6,010	6,150
(参考) 第四北越証券	4,489	476	4,013	4,250

以上